



上／最上階の屋上庭園 下／明るい外来待合



地域のシンボルとなるファサード

設計主旨

一 計画概要

川島病院は昭和50年に現在の敷地にて開業し、社会情勢に合わせ増改築を行いながら地域医療を支えてきた。しかし、建物の狭小化・老朽化が進み医療・福祉の内容も超高齢化の社会情勢とともに変わってきた。この契機に、新しいリハビリ病院の姿を追求するため、既存病院の道路を挟んだ隣接地に新病院を建設し、かつ既存病院を老人ホームにリノベーションを行った。新病院と既存病院は道路上空通路でシームレスに連絡している。

一 人、自然、社会とつながるリハビリ病院

敷地は名古屋市内の幹線道路沿いに位置する。リハビリを主体とする病院として、都市部にありながらも自然を感じられる「地域医療を支えるアーバンフォレストホスピタル」をコンセプトに、患者や見舞客、スタッフが光や風、緑を感じられる病院を目指した。狭隘敷地ではあるが、リハビリ部門を最上階に配置し、自然を感じながら屋外リハビリができる、屋上庭園のある豊かな空間をつくり出した。病棟は口の字型の回遊廊下で日常的にリハビリが行え、中央の陽光あふれる光庭越しに他の患者のリハビリを垣間見られる構成とし

た。病棟食堂はまちの活動を望める幹線道路に面し、患者が社会復帰を希求するきっかけとなるよう計画している。外来は1階に集約した口の字型のシンプルなプランで、明るく緑を望む外来待合など、分かりやすく安心感のある空間とした。一 **患者、家族、スタッフが快適に過ごせる病棟** 生活空間としてのやすらぎと心地良さに最大限配慮し、オープンエンドの廊下と光庭で光あふれる明るい病棟とした。光あふれる廊下は、季節や時間を感じながら病棟リハビリができる場所となる。病室は全室トイレ洗面付きとし、リハビリ病

院の特性に配慮し、4床室は車椅子対応トイレ付き、かつベッド間に楽に車椅子が入る広さとした。病室窓は腰高を低くし、ベッドに寝たまま外の景色が見られる。スタッフステーションは病棟中央に配置し、スタッフ動線が短く、全病室の患者の近くで看護できる構成とした。EVホールはスタッフステーションに面して配置し、今後増えるであろう認知症患者の離院チェックや見舞客受付にも配慮している。一 **屋上庭園** 屋上庭園はリハビリ部門だけでなくEVホールにも面し、入院患者や見舞客など誰もが

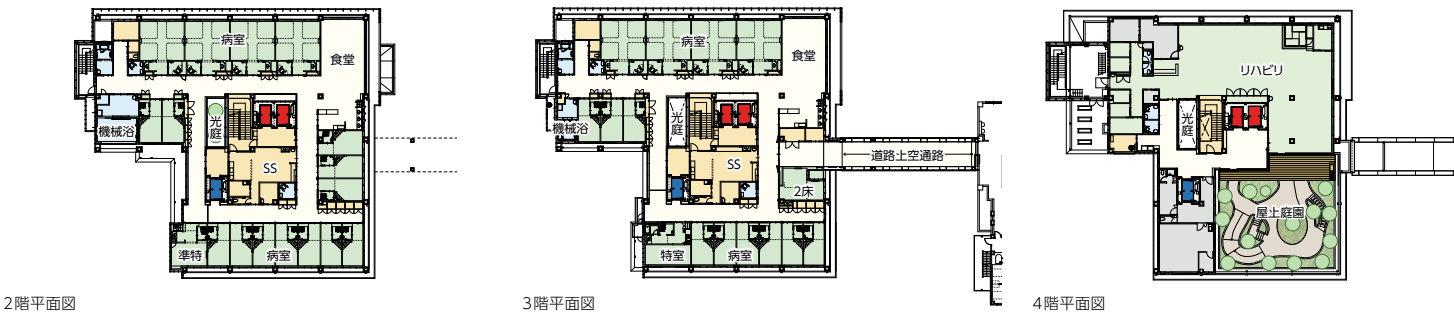
自由に過ごせる庭園として計画した。庭園散策路は路面の違いによる訓練も可能なよう、歩道・砂利道・スロープ・階段を設けた。その周囲に植栽を配し、木々に囲まれた豊かさをつくり出している。植栽は、害虫・毒・棘が無い安全性と、四季を感じる多種多様な植栽を選定した。また、花壇は車椅子で園芸療法が可能な高さとし、患者が土や植物に触れられるよう配慮した。都市の中のオアシスとして患者の自己治癒力を高め、見舞客、スタッフの心が癒される環境を創出している。

一 外観デザイン、内装、サインデザイン

地域医療を支える病院として「地域に開かれ、シンボルとなる外観デザイン」をコンセプトに水平ラインの伸びやかで端正なデザインとし、幹線道路からの視線を制御し、西日を遮蔽する縦ルーバーでリズムカルなファサードとした。内装は木調の暖かみのある空間とし、各所に季節感の演出が可能な飾り棚を設けた。CIとして、イメージアイコンを創作し、サインは守山の自然から抽出した色彩をアクセントカラーとして各サインエッジに用い、オリジナリティーを持たせ、親しみやすく愛着が持てるよう計画した。（犬飼直樹、松下拓真／東畑建築事務所）



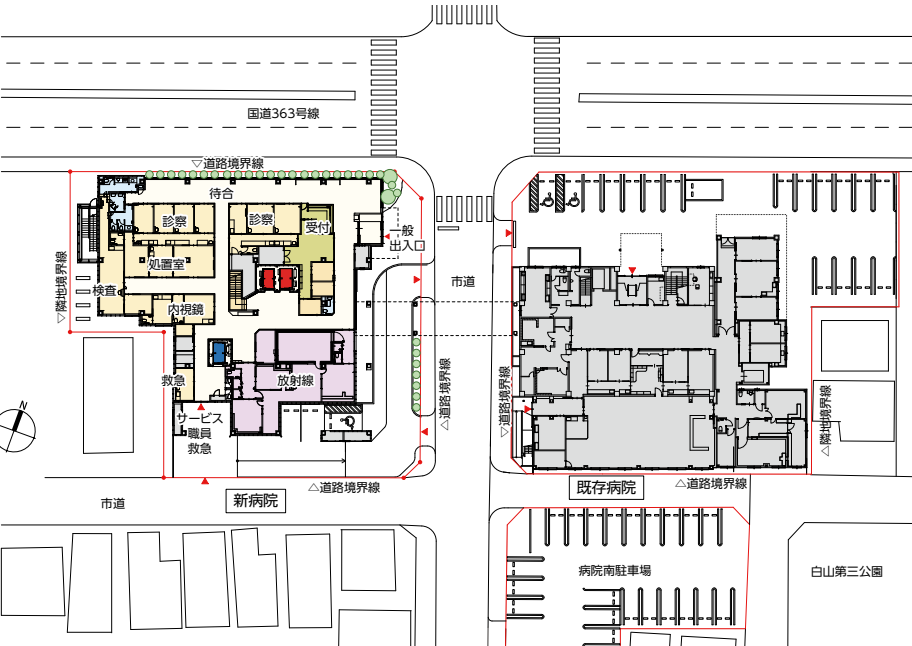
病棟光庭



2階平面図

3階平面図

4階平面図



配置・1階平面図 縮尺1/1,000



病室(4床室)



屋上庭園夜景



まちを優しく照らす夜景



まちを望む病棟食堂



木々に囲まれた屋上庭園

医療法人和光会 川島病院 データ

所在地 名古屋市守山区白山3-403、404

主要用途 病院

建築主 医療法人和光会

設計・監理 東畑建築事務所

担当／総括：犬飼直樹 建築：松下拓真、東田夏海

構造：太田原克則、山田貴大 設備：石橋尚之

施工 松村組

担当／井上 孝、二階谷孔、岩田直政、永治利実

設計期間 2018年7月～2019年8月

工事期間 2019年11月～2020年11月

〔建築概要〕

敷地面積 1,633.27㎡

建築面積 1,162.20㎡

延床面積 3,617.31㎡

建ぺい率 71.16% (許容85.65%)

容積率 189.13% (許容189.14%)

構造規模 S造 地上4階

最高高さ 20.03m

軒高 17.72m

駐車台数 4台

地域地区 緑化地域、絶対高31m高度地区、20m高度地区

〔病棟概要〕

診療科目 全7科

内科、外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーシ

ョン科、胃腸科、リウマチ科

病床数 全56床 1床20室、2床1室、4床8室、特室1室、

準特室1室

1床当延床面積 64.6㎡

病棟基準階面積 964.60㎡

1床当病棟基準階面積 34.45㎡

〔設備概要〕

電気設備 受電方式／高圧7.2kV1回線受電 変圧器容

量／屋外型キュービクル1φ3W150kVA×2台、3φ

3W500kVA×1台、3φ3W300kVA×2台

予備電源／非常用発電機200kVA

空調設備 空調方式／HPエアコン 熱源／電気

衛生設備 給水／受水槽＋加圧給水方式 給湯／ガス給湯、

電気温水器 排水／雨水汚水分流方式

防災設備 消火／スプリンクラー設備、補助散水栓、消火

器、移動式粉末消火器 排煙／自然排煙 その他／自動

火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、非常照明設備

昇降機 機械室レス乗用(15人乗)×2基、機械室レス寝

台用(15人乗)×2基

特殊設備 医療ガス設備

撮影／伊藤 彰(アイフォト)

協力会社

電気設備工事	中電工業
空調設備工事	大冷工業
衛生設備工事	カケン
鉄筋材納入	山口鋼業
ステンレス配管継手納入	オーエヌ工業
金属工工事	日本デージー
軽量鋼製建具工事	三和シャッター工業
放射線防護工事	技研興業
押出成形セメント板	ノザワ
トイレブース工事	小松オール工業
家具・什器備品	丸天産業
壁紙・フィルム・床材・カーテン・椅子生地	サンゲツ
サッシ・C・BOX・コーナガード・巾木	カイダー・ベースボード工業
ナースコール	アイホン